

博物館 NEWS

博物館 ニュース



大日本沿海図稿 南海 参 (徳島大学附属図書館所蔵)

徳島大学附属図書館には、多数の古地図が所蔵されています。その中には、初の実測日本地図を作ったことで有名な伊能忠敬(1745～1818)が作成した「沿海地図」や「大日本沿海図稿」があります。これらは、作成時にあげられた微細な針穴(同時に複数枚の地図を正確に作成するため、下図の測点を針で突いて写したことによりあいた穴)が確認でき、美しく保存状態のよいものです。このほか同館には伊能に関わる古地図として、「豊前国沿海地図」の写本、伊能図を基にした刊行図「官板実測日本地図」もあります。

「大日本沿海図稿」は、五畿東海、山陰山陽、南海、西海の4鋪から構成されています。文化元年(1804)に江戸幕府天文方高橋景保(1785～1829)の手附(幕府の役人)となった伊能忠敬は幕府直轄事業として、文化11年(1714)まで西日本の沿岸測量をします。文化5年(1808)には徳島藩領の淡路・阿波を訪れています。

写真は、南海(四国)の図。北西辺や北東辺が不整形に切られているのは、五畿東海、山陰山陽の図と接合できるようにしているためです。

(長谷川賢二)

守住貫魚と模型制作

大橋 俊雄

守住貫魚(1809 ~ 1892)は、江戸後期から明治にかけて活躍した画家です。若い頃に徳島藩の絵師を勤め、明治維新後、60歳を過ぎてから大阪に移り、東京で開かれた第1回、第2回内国絵画共進会に出品して受賞しました。晩年には皇室技芸員に選ばれています。

貫魚の製作にまつわるエピソードを1つ紹介しましょう。明治17年(1884)、皇居内に明治宮殿が起工されましたが、その宮殿の障壁画を、当時は有名であった多くの日本画家が分担製作しました。貫魚は奥御殿の杉戸に「機織り図」と「棕櫚図」を描きました。その時の様子を、『大日本美術新報』第45号(明治20年刊)は次のように伝えています。

守住貫魚翁 先年絵書共進会に金賞を賜りて美名を揚げし守住貫魚翁は囊に新皇居の御杉戸に機織の圈を描くべき由命ぜられければ老後の思ひ出是にまさる恩命なしと歡びて直ちに浪花の寓居を立ち故郷阿波へ帰り織工に就ひて屢々写真図を製し其上一の雛形を作らせ之れを浪花の居に携へ帰りて座右に置き始めて下絵に掛りしか頃日出来して内覧に入れたるに掛りの人々も其熱心を感じし今時壮年の画工輩も此如き心懸こそあらまほしけれと申せし由

貫魚は「機織り図」を製作するにあたり、故郷徳島に帰って機織りを実見し、スケッチを何枚も描き、雛形(小さな模型)まで準備して取りかかりました。故郷に帰ったのは、見学の当てがあったのと、地方に残る旧式の織機を参考にしたかったためかと思われます。

彼が描いた杉戸絵は、第二次大戦中に焼失しましたが、小さい模写が宮内庁書陵部に保存されています。それには、一台の織機にむかって女性が作業をしている様子が描かれています。この縮図を、平成9年に当館の企画展で展示しました。川

島織物文化館の藤岡年紀氏がたまたま御覧になられ、描写の確かさに感心されていたのを覚えています。

もっとも、貫魚が模型を作り、製作の参考にしたのはこれが最初ではありません。まだ藩絵師であった弘化3年(1846)、海難に遭ってメキシコに滞在していた、水主の初太郎が徳島に帰ってきました。前藩主の命令により、彼の異国での体験談が『亜墨漂流新話』にまとめられ、貫魚が挿絵を描きました。同書の識語には、貫魚がワラをあつめ、土をこねて山川器物の形状をまね、木を刻み、紙を切り、細縄でつないで船楫、帆柱などを作り、挿絵に写したと記されています。

ところで、貫魚の子孫の家には、彼が自作した模型がいくつか残されていました。それらは現在当館に保管されています。模型は木や紙、布、細紐などを使ったミニチュアが多く、実際に目にふれた古器物や、古画に描かれた道具を模しています。実例を数点あげてみましょう。

<1> 和琴

杉材を削って作り、赤色の紙を帯状に貼る。表面に「古杉木ヲ以テ造」「和琴」「天保九年戊戌十一月 定輝花押」、裏面に「図二有処ノ和琴多ク八宋ノ琴ニ其製造ニヨル物多シ古形ヲ写也」、赤紙に「大和錦」の各墨書あり。長さ 15.8m。



<2> 古幣

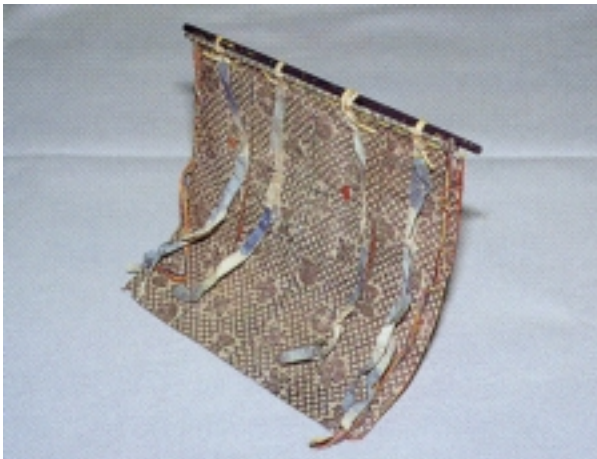
木と紙、竹と紙で作る。包み紙に「古幣二本」「応仁之比/木串之方 福富双紙」「時代不知/竹

申 古書之物有処」「元治元年甲子九月日」の墨書あり。高さ各 4.4cm。



きちょう
④ 几帳

木を削って柱とし、紙で垂幕を作る。裏に「春日験記絵中有 / 慶應四年三月日 貫魚花押」の墨書あり。高さ 16.0cm。



おくるまのせみ
④ 御車之蝉

木製。表に「スレヤセシ」、裏に「元永二年九 セミノトメ / 金メッキ」「御車之蝉 / 長六寸四分巾五分」の墨書あり。長さ 19.6cm。



⑤ 百万塔

法隆寺の百万塔を木で、容器を紙で作る。総高

6.7cm。



⑥ 前代女服

紙製。紙袋に「前代女服考 貫魚」なる一文があり、末尾に「明治十年浅草御文庫ニテ篤」と記す。服の丈 26.8cm、裳の丈 20.0cm。



よるい こざね こしらえ ひたたれ
上にあげた以外にも、
きくとし えびら たび
菊綴、簾の紐、奈良時代の足袋、牛車の車輪、火打袋、書囊、梯子の段、三脚の金具などさまざまな模型があります。当初は、これらの一つ一つ紙に包み、その表に貫魚自身が名称などを記して保管していたようです。

貫魚はなぜ模型を作ったのでしょうか。『亜墨漂流新話』の挿絵のときは、で説明されるだけで、見たことのない事物を具体的にイメージするためでした。『機織り図』のときは、機織の構造そのものを理解するためだったと思われます。ものの形を構造までふくめて、立体として把握すれば、どのような角度からでも合理的に描けるようになるでしょう。

貫魚は、やまと絵を得意とする住吉派の画家でした。彼は古典文学をテーマに、虚構の世界を情感豊かに描きましたが、一方で、合理的な描写にも注意をはらいました。その本当の理由は、今後さらに考えてみなければなりません。

(美術工芸担当:主任学芸員)

企画展 伊能忠敬が描いた日本

最初の^{いのう}実測日本地図を作った人物として、伊能忠敬の名を知る人は多いでしょう。忠敬は50歳で測量学を学び、その後、測量隊を率いて北海道から九州までの沿岸を歩いて測量しました。文化5年(1808)には、淡路や四国にもやって来ています。

この企画展では、徳島大学附属図書館が所蔵する伊能図にスポットを当てるとともに、阿波における忠敬の足跡、忠敬と同時代の阿波の測量師の技術や地図、さらには、地図の歴史を大まかにご紹介いたします。あわせて、徳島大学附属図書館が製作した古地図のデジタル画像データを公開します。伊能図を中心に、地図の歴史の世界を垣間見ていただければ幸いです。

主催 徳島県立博物館
特別協力 徳島大学附属図書館
後援 徳島地理学会

構成と主な展示資料

沿海地図(徳島大学附属図書館)
大日本沿海図稿(徳島大学附属図書館)
豊前国沿海地図(徳島大学附属図書館)
測量日記(重要文化財)
(佐原市教育委員会[伊能忠敬記念館])
南阿測地法(個人)
阿淡御両国絵図面(徳島県立図書館)

^{しょうほうぎ}小方儀ほか近世の測量道具(個人)
^{ぎょうきぼさつ}行基菩薩説大日本国図

(尼崎市教育委員会歴史博物館準備室)
日本海山潮陸図(高知県指定立化財)
(安芸市立歴史民俗資料館)
測量道具(建設省国土地理院四国地方測量部)

会期 9月10日(金)～10月11日(月)
(最終日以外の月曜日休館)
会場 企画展示室
観覧料 一般200円、高校・大学生100円
小・中学生50円
(20名以上の団体は2割引)

関連行事

(1)講演会(入場無料)
日時 9月19日(日)13:30～15:00
会場 文化の森イベントホール
テーマ 江戸幕府の絵図作成と伊能図
講師 川村博忠氏(東亜大学教授)

(2)展示解説(観覧料必要)
日時 9月15日(水) 14:00～15:00
10月3日(日) 14:00～15:00
講師 平井 松午氏(徳島大学教授)

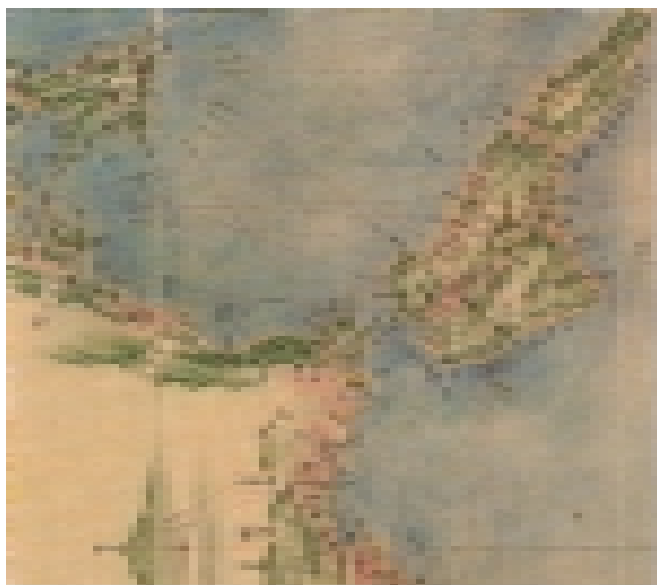
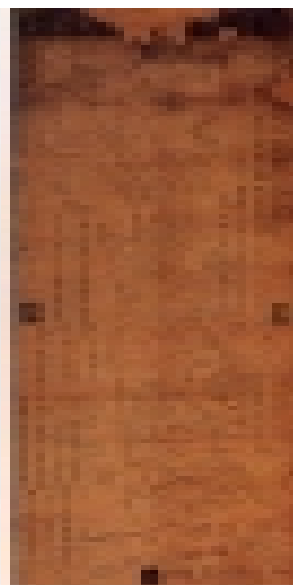


図1 大日本沿海図稿 南海 参(部分)



図2 小方儀図3



行基菩薩説大日本国図

日本全国で毎年 8000 件以上の発掘調査が行われています。新発見考古速報展では、昨年行われた全国の調査の中から選りすぐった資料 450 点あまりを展示します。

また、最近の県内の主な発掘成果についても、新発見考古速報展の中核展示にあわせて、地域展示として紹介します。

主催 文化庁 徳島県立博物館

主な展示資料

中核展示(全国の出土品)

旧石器時代

柄の焼けた石やり...北海道総進不動坂遺跡そうしんふどうざか

縄立時代

土偶...青森県有戸・鳥井平 4 遺跡ありと とりいたい

弥生時代

ガラス腕輪...京都府大風呂南墳墓群おおぶるみなみ

古墳時代

盾持人埴輪...群馬県保渡田八幡塚たてもちひとにはわ ほただはちまんづか

古墳古代

富本銭...奈良県飛鳥池遺跡ふほんせん あすかいけ

中世

経塚出土品...京都府白川金色院跡きょうづか しらかわこんじきいん

近世・近代

キリシタン木棺...大阪府高槻城跡たかつきじょう

地域展示(徳島県の出土品)

旧石器時代

ナイフ形石器...阿波町日吉谷遺跡ひよしだに



富本銭 奈良県飛鳥池古墳

縄文時代

縄文土器・土面...徳島市矢野遺跡

弥生時代

焼けこげた米...徳島市南庄遺跡

古墳時代

三角縁神獣鏡...徳島市宮谷遺跡さんかくぶちしんじゅうきょう

古代

『政所』と書かれた土器...徳島市国府跡まんどころ

中世

守護所勝瑞の陶磁器...藍住町勝瑞城跡しゅごしょしょうずい

近世・近代

京焼の皿・向付...徳島市徳島城下町遺跡むこうづけ

会期 10月24日(日)～11月21日(日)
(月曜日休館)

会場 博物館企画展示室(1F)
部門展示室(2F)

観覧料 一般 200円、高校・大学生 100円
小・中学生 50円
(20名以上の団体は2割引)



縄文土器深鉢 徳島市矢野遺跡

企画展関連行事 文化の森イベントホール

(1) 記念講演会

10月30日(土) 13:30～15:00

『貝塚から解き明かすゴミの歴史』

文化庁記念物課 岡村道雄氏

(2) 調査報告会

10月31日(日) 10:00～16:00

最近の県内の調査の中で特に注目される遺跡の報告を調査担当者が行います。

鑑藏品紹介

穴喰の漣痕^[複製]

博物館の常設展示室入^に、穴喰の漣痕^(複製)が展示してあります(図1)。徳島県の最南端、穴喰町穴喰字古目の竹ヶ島に通じる1日国道沿いにある、国指定の天然記念物(1979年11月26日指定)として有名な「穴喰浦の化石漣痕」の複製(レプリカ)です。



図1 展示室の穴喰の漣痕(複製)。

漣痕は、砂岩層の表面にみられる規則的な^{みね}峰と谷からなる構造です。水流によって砂が運ばれて堆積するとき、リップル斜交葉理とよばれる波状の砂粒の配列をつくることがあります。砂岩層の上面に残されたリップル斜交葉理がつくる凹凸、それが漣痕で、リップルまたはリップルマークともよばれます。

漣痕の「漣」は「さざ波」を連想させるため、漣痕は潮間帯や浅い海底でつくられるものと思われがちですが、河床や、浅海から5,000mをこえる深海に至るまでの海底など、いろいろな環境で形成されます。砂丘の表面にできる風紋(ウィンドリップル)も、リップルマークの一種です。

穴喰の漣痕は、砂岩泥岩互層の厚さ10数cmの1枚の砂岩層の上面に発達しています。海底では水深や流速によって様々な形態のリップルがつくられますが、穴喰の漣痕は、波長約300m・波高数cmの非対称な断面をもつ舌状の凹凸が、魚のウロコ状に配列しており、一方向の流れによってつくられた舌状カレントリップルとよばれる形態のもので、漣痕は化石ではないので、「漣痕化石」とか「化石漣痕」というよび方は当を得たものではありません。

穴喰から竹ヶ島にかけての海岸沿いには、砂岩泥岩互層がよく露出しており、天然記念物に指定

されたもの以外にも、たくさんの漣痕を観察することができます。この一帯に分布する地層に含まれるナノプランクトンや放射虫化石の最近の研究から、これらの地層の年代は古第三紀始新世中期(4,000 ~ 5,000 万年前)であることが明らかにされました。また、当時の海の底棲生物が残した生痕化石からは、漣痕周辺の地層は2,000mをこえる深海で形成されたものだと考えられています。

ところで、漣痕のレプリカ製作は、それが国指定の天然記念物であることから、文化庁の許可を得て実施しました。大きすぎて漣痕全体を型取りすることは無理なので、右下の5 x 6 mの範囲を型取りしてレプリカをつくりました(図2、3)。

穴喰の漣痕は野外で風雨にさらされているため、年々風化が進んでいます。上部は松の根が地層の間に入り込んで地層をうかせ、崩落しかかっています。この天然記念物を管理する穴喰町からも尋ねられたことがありますが、残念ながら、今のところ、こうした地質露頭を現地保存する有効な方法がないのが実状です。もし将来、漣痕の傷みがひどくなった場合、博物館に展示してあるレプリカが、その元の姿を留める唯一の資料ということになるかもしれません。

(地学担当:両角芳郎)



図2 漣痕の型取り。表面のほこりやコケを除去したのち、シリコンゴムを塗り重ねて型取りする。



図3 レプリカの着色。工場に持ち帰ったシリコンゴム型にポリエステル樹脂を注入して成型し、実物に合わせて着色する。

Q&A

Q:昆虫の標本の作り方を教えてください

A 「昆虫の標本づくり」で一番大切なことは、ただただ、よく乾かすということです。その付録として、形をきれいに整えるかどうか、ということです。最初からあんなにきれいにはできないとあらかじめ必要はありません。

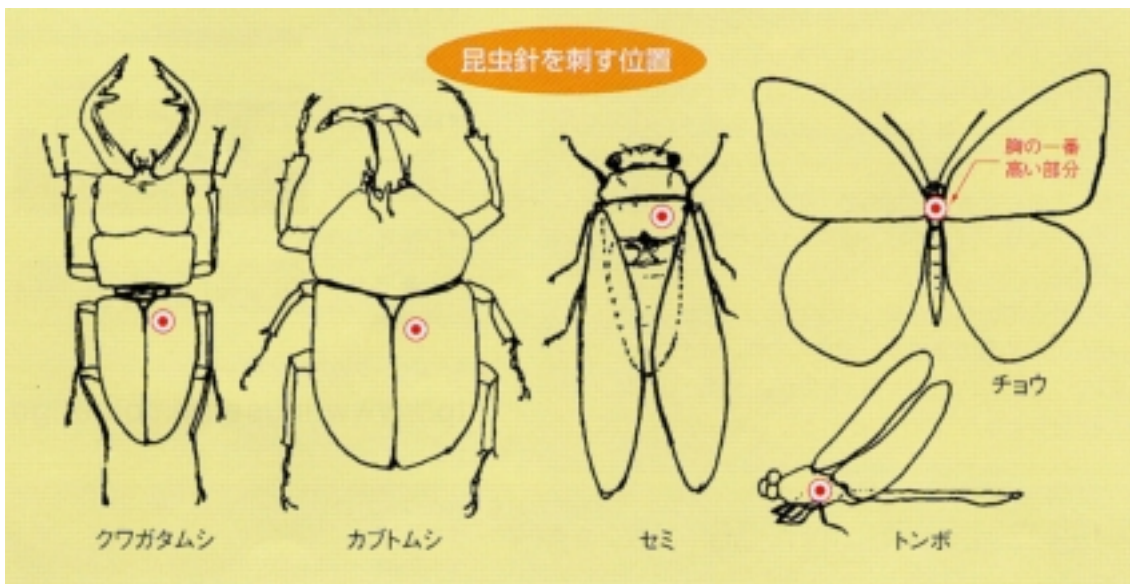
昔は、昆虫採集セットなるものが売られていて、中には注射器と、殺虫剤、昆虫針などが入っていて、いかにもそれを使うときれいな標本が作れそうに見えたものです。しかし、このようなセットは、昆虫の標本作りには全く必要ありませんし、逆に害の方が大きいのです。というのは、昆虫の標本作りのもっとも大事なことは、よく乾燥させるということです。水分をできるだけ含まないようにしなければなりません。ところが、あのようなセットに入っている注射液は、単なる色のついた水と考えた方がいいのです。虫を殺せるのであれば、危険な薬ということです。子供たちに売れるわけがありません。子供がカブトムシなどに、たっぷりと水を注射すれば、たしかに死ぬには死ぬでしょうが、ものすごく苦しみますし、中には水がたっぷり入っていますから、すぐに腐きて、ものすごい臭いがするようになります。ですから、あのようなセットはまったく必要ありません。

では、虫を採ったらどうしたらいいのでしょうか？ 標本にするためには、その虫を殺さないとい

けません。注射がないのに、どうして殺すのですかという質問も多いのですが、一番簡単な方法は、小さなビニール袋に虫を入れます。その袋をタッパーに入れ、冷凍庫で凍らすのです。そうして1～2日凍らすことで、虫は死んでしまいます。なお、ビニール袋には、マジックなどで、どこでいつ、誰が採集したかを書いておきます。

冷凍庫から出して、柔らかくなったら、虫に昆虫用の針を刺して、乾燥させるわけですが、このときの昆虫針は少し特殊で、理科器具店でないと売っていないことが多いです。文具店などで売っているのは少し短くて、標本が乾いたときに持ちにくく、こわしやすいため注意しましょう。また、標本の横には採集日や採集地、採集者などを書いた小さな紙を忘れずにつけておきます。

虫を乾燥させるときに大切なのは、ゴキブリなどに食べられないようにすることです。ですから、お父さんやお母さんの洋服が入っていたような、大きな紙の箱を準備して、そのまわりに防虫剤を入れてから、乾燥させる虫を入れます。そして箱のふたをして、できるだけ乾燥した部屋でじっくり乾燥させましょう。クーラーの入っている部屋が一番いいですね。一ヶ月くらい乾燥させるようにすると、いつまでも標本は残りますよ。標本を長く残そうとすると、標本箱もしっかりしたものを選ばないといけません。学校の宿題ならお菓子の箱などを利用するだけで十分です。



10月から12月までの博物館普及行事

あなたも参叻してみませんか？

シリーズ	行事名	実施日	実施時間	対象(人数)
野外自然かんさつ	秋の植物	10月3日(日)	10:00...15:00	小学生から一般(30名)
	アサギマダラにマークしよう	10月3日(日)	10:30 ~ 12:00	小学生から一般(25名)
	地すべり地を訪ねる	11月7日(日)	10:00 ~ 15:00	小学生から一般(40名)
	県南の植物かんさつ	11月14日(日)	9:00 ~ 17:00	小学生から一般(45名)貸切バス
土曜講座	谷田時絵のこと	10月9日(土)	14:00-15:00	小学生から一般(50名) 1
	貝とカニのはなし	11月13日(土)	14:00 ~ 15:00	小学生から一般(50名) 姫 1
	南島とイモ	12月11日(土)	14:00 ~ 15:00	小学生から一般(50名) 栄 1
歴史散歩	野の仏在しらべよう	10月24日(日)	10:00 ~ 12:00	小学生から一般(85名)
	辻町を歩こう	11月21日(日)	10:00 ~ 12:00	小学生から一般(120名) 2
体験学習	土器づくり .1(成形)	12月12日(日)	13:00 ~ 16:00	小学生から一般(3e名)
室内実習	顕微鏡で鉱物かんさつ	10月17日(日)	13:00 ~ 16:00	小学校高学年以上(25名)
企画展関連行事	展示解説 .2	10月3日(日)	14:00 ~ 15:00	企画展「伊能忠敬が描いた日本」 小学生から一般(50名) 1
	記念講演会「貝塚から解き明かす ゴミの歴史」	10月30日(土)	13:30 ~ 15:00	企画展「発掘された日本列島'99 考古 速報展」小学生から一般(300名) 1
	調査報告会	10月31日(日)	10:00 ~ 15:00	企画展「発掘された日本列島'99 考古 速報展」小学生から一般(300名) 1
	展示解説 .1	11月3日(水)	14:00 ~ 15:00	企画展「発掘された日本列島'99 考古 速報展」小学生から一般(50名) 1
	展示解説 .2	11月14日(日)	14:00 ~ 15:00	企画展「発掘された日本列島'99 考古 速報展」小学生から一般(50名) 1
ミュージアムトーク	中世説話を読む .1	11月27日(土)	14:00 ~ 15:00	4回シリーズ 4回連続出席可能者のみ
	中世説話を読む .2	12月25日(土)	14:00 ~ 15:30	シリーズ1の参加者

1 は、申し込み不要です。その他は往復はがきでお申し込みください。(各行事の1ヶ月前から10日前までに届くように)

2 は、小学生の場合保護者同伴。

くわしいことは博物館にお問い合わせ下さい。

「博物館は自然の宝庫」

各学校においては、新教育課程の実施に向けてさまざまな取り組みがなされています。中でも、遠足や校外学習で当館を訪れ、児童生徒の「生きる力」の育成に体験活動を取り入れてみようとする学校が増えています。本年度4月から7月までに約4,000人の児童生徒が来館していますが、そのうち約200人がワークシートをつかった学習を体験しています。

次の感想文は、その体験談をお寄せいただいたものの1つです。

はくぶつかんへいったよ

八万南小学校 2年 くぼ ちひろ

7月3日に2年生は、はくぶつかんにいきました。そこで、先生が作ったプリントでクイズラリーをしました。

さいしょのクイズは、「うしろ足の大きなきょうは何でしょう」というものでした。わたしが書いた答は、にく食で大きいチラノサウルスです。あっていてホッとしました。「おかあさんたちにあげたい石」は、色が水色できれいな、アクアマリンと書きました。水晶の子がほとんどで、「水晶にしようか。」とまよっていると、アクアマリンが目について、水色がすきだったので、アクアマリンと書きました。アクアマリンは、石だとは思えないほどきれいだなと思いました。

はくぶつかんでいちばん楽しいなと思ったのは、とくしまのしぜんのところの海です。大きくて赤いイセエビ、かわいい顔のウミガメ、おもしろいものがいっぱいでした。

きょう一日ちょっとつかれたけどとても楽しかったです。

博物館のホームページが新しくなりました

徳島県立博物館のホームページがリニューアルしました。博物館の紹介や催し物案内に加えて、きれいな植物写真などとおきの情報が満載です。ぜひ、ご覧ください。



ホームページのアドレス

<http://www.museum.comet.go.jp/>